2022 年度終了　東京都立大学教育改革推進事業
（【A】組織提案型支援プログラム）取組

１　取組名称

臨床実習前実技評価に伴うフィードバックシステムの構築

２　取組組織名

健康福祉学部

３　取組実施代表者名

健康福祉学部　放射線学科　准教授　関根 紀夫

４　取組年度期間

2020～2022 年度（３年間）

５　取組の概要

臨床実習前の学生が習得すべき医療技術スキルを評価する OSCE（Objective Structured Clinical Examination：臨床実習能力試験）について、実技評価データから①明確な問題点の可視化、②学生が自ら学ぶアクティブラーニングコンテンツの開発、③STA,TA を活用した学びのサイクル環境の構築を行う。これらにより、臨床実習へ向かわせるためのより効果的なフィードバックを目指す。

６　事後評価の総合評定

３．８　※審査会（教育担当副学長及び部局長構成）の審査員が行った５段階評価（５～１）の平均点

７　事後評価に関する審査会での主な意見

○OSCE の実施による評価データの可視化、kibaco を活用した危険予知トレーニング CBT および VR(仮想現実)教材の作成・利用など、４学科全体での明確な目標に沿った事業展開を行ったことは高く評価できる。また実務経験者でもある STA、TA と、臨床実習前学生との関わりにおいて、相互学習環境での学びもお互いの成長にとって重要であると考えられる。これらより、本事業の目的は十分に達成されたと考えられる。

○臨床の場での実技の力は、直接患者に対するという点で高いレベルが要求されると思われる。学生の実習においても、一定の力が前もって担保されていれば安心である。本課題は、臨床実習前の学生の医療技術スキルの把握にタブレットなどの ICT ツールを導入し、効率的な評価とフィードバックを目指している点が評価できる。また、ICT 活用の例にもなっている。

〇様々な学外者との連携のもとでプロジェクトが推進され、成果を挙げるとともに人的ネットワークが形成された。